

シャクヤク

【 *Paeonia lactiflora* 】

科名 ボタン科

属名 ボタン属

薬効・用途

根（芍薬 シャクヤク）には消炎、鎮痛、抗菌、止血、抗けいれん作用があり、葛根湯、十全大補湯、芍薬甘草湯、大柴胡湯、当帰芍薬散などの漢方方剤に配合される。



・花期：5～6月

備考

夏緑性多年草。アジア大陸北東部の原産。ボタンは木本で冬も枝が残るのに対し、シャクヤクの方は草本で冬は地上部が枯れ、地中の根や芽で冬越する。和名は、しなやかで優しい姿かたちを意味する「綽約（しゃくやく）」という言葉に由来する。両性花。